

令和5年度
学校だより
12月号

かごまち



令和5年12月1日
文京区立駕籠町小学校
校長 矢部 明美

自分事の学びの「積み重ね」～表現発表会の姿から～

校長 矢部 明美

11月17日（金）、18日（土）に、表現発表会が行われました。

3年前は、体育館のベランダや、校庭、遊具をそれぞれのステージに見立てて、屋外で発表しましたが今回はコロナ禍を経てから、初めて全校が体育館に一堂に会しての学芸的行事でした。

1年生は国語と生活科で学んだこと、2年生は国語の音読に自分たちの工夫を加えて、3年生は文京区の見どころを旅行会社の社員に扮して紹介し、4年生は社会科の学習で学んだ「水」についての現状と課題をミュージカルで、5年生は社会科で学んだ日本の様々な土地の産業とそこに生きる人々の思いをテレビ番組仕立てで、6年生は、駕籠町小伝統の鼓笛隊を経験したからこそ、音楽の楽しさを伝える演奏で、それぞれ表現を工夫しながら発表しました。

どの学年も共通していることは、これまで自分たちが授業の中で話し合ってきたことや一人一人が振り返りに書いた気付きや考えをもとに、伝えたいことを共有しながら作ってきている、ということです。

学びを「自分事」としてとらえ、「学んでいるのは自分」と感じられる授業を積み重ねてきたからこそ互いの学びの成果を、学年を越えて共有し、自分に生かそう、という姿勢が生まれたと思います。

そう感じたのは、1日目の発表の際、低学年は低学年なりに高学年の発表を聞きながら「水は大切にしなければね」「大変だ」と話している声が聞こえたり、低学年の精一杯の発表を見た高学年が、2日目にはさらによりよい表現の仕方へと変えたり、という姿が見られたからです。

そして、最後の6年生の発表の際「気を付け、礼」という6年生のあいさつに合わせて1～5年生全員が背筋を伸ばし、一緒に礼をしていた姿からは、6年生への憧れとともに、自分もいつかこうなりたい、という自分が目指す姿—目標につながるもの—を描いているように見えました。

これからも、子どもたち自身が「学んでいるのは自分」と実感できる授業を積み重ねます。

今年一年、たくさんの皆様のご理解とご協力、そして応援があつて、こうした姿に表れたと思っております。ありがとうございました。来年もどうぞよろしく願いいたします。よいお年をお迎えください。

12月の行事予定 <いのちと人権月間>			詳しい日程については、学年だよりをご参照ください。		
日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
1	金	4時間授業（全）	17	日	
2	土		18	月	全校朝会 4時間授業（1年）
3	日		19	火	4時間授業（1年）
4	月	全校朝会 B時程 5時間授業（全）	20	水	4時間授業（全） 長唄教室（5年）
5	火	B時程 5時間授業（全）	21	木	
6	水	児童集会 安全指導 4時間授業（全）	22	金	給食終
7	木	ユニセフ募金始 避難訓練	23	土	
8	金	5時間授業（全） 脊柱側弯検診（5年）	24	日	
9	土		25	月	終業式 土曜時程 4時間授業（全）
10	日		26	火	冬季休業日始
11	月	全校朝会 4時間授業（1-2年） 5時間授業（3-6年）	27	水	
12	火		28	木	
13	水	児童集会 ユニセフ募金終 保護者会（246年14：15 -、135年15：00 -）	29	金	
14	木	4時間授業（1年） 学びの教室終	30	土	
15	金	4時間授業（1年） 5時間授業（2-6年） クラブ	31	日	
16	土				

「いのちと人権を考える月間」の取り組みについて

人権担当

人権は、人間の尊厳、一人一人の幸せにつながる基本的な理念です。文京区では、5月と12月を「いのちと人権を考える月間」と位置付け、子供たちが、人権の意義やその重要性を理解し、日常生活の中で人権尊重の意識が態度や行動として表れるような人権感覚を身につけられるよう、人権指導を行っています。

本校での日常的な指導

- ・「駕籠町スタンダード」を活用して、基本的な生活習慣を身に付けさせ、規範意識を高める。
- ・自尊感情を高める場や機会を意図的に設定して、指導を積み重ねる。
- ・教育活動全体を通して、協力することの大切さを学ぶとともに生命の尊さを実感し、人権尊重の精神を育む。

5月には「駕籠町心いきいき標語」を書き、児童一人一人が、友達や生命の大切さなどについて考える機会を設けました。また、4年生が、人権をテーマに、自分たちが考えたことやできることを、作文にする活動も行いました。子供たちの人権感覚を養い、自分のよさを認め、さらに自分と異なる他者のよさも認め合えるような、児童同士の関係を築いていきたいと思っています。

学び合い、伸び合う2年生

2年担任

昨年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため、生活科の町探検の学習で校外に出ることができませんでしたが、今年度は公共施設や店のご協力を得ることができ、実際に施設や店の中を調べたりインタビューしたりすることができました。地域を調べることを通して自分の課題に沿っためあてを立てたり、友達の学びから自分の学びに発展させたりすることができました。表現発表会では、スイミーの学習後に出た「劇でさらに細かく表現したい」という意見からスタートし、自分たちのイメージをより表現するためのセリフや動きを話し合い、表現することができました。遠足では、昨年の経験を生かして遊びの計画を立てたり、1年生の様子を見ながら工夫してグループで活動したりする姿が見られました。

「より深く学びたい」「上級生として頑張ろう」という2年生の思いや良さが学び合いの中でさらに育まれるよう、3学期も取り組んでいきます。



表現発表会～これまでの学びの発表～

表現発表会委員長

11月17日（金）18日（土）に表現発表会を行いました。各学年これまで学んできたことを、表現方法を工夫して発表しました。一人一人が自分にできる努力を精一杯積み重ねて、表現することができました。

1年生「1ねんせいのおもいで」



3年生「かご町旅行社」



5年生「日本の果てまで行ってみよう」



2年生「スイミー」



4年生「君たちは どう飲むか」



6年生「愛を奏でよう」

